



第3会場 ● 4F 視聴覚室

■司 会／池田 恵太 佐賀市立循誘公民館運営協議会 主事
三瓶 晴美 たぶせ雑学大学 代表

分科会の進め方 10:45~10:50

1 地域ぐるみで取り組む琴浦町「10秒の愛キャンペーン」の推進
—0歳から15歳までの子どもの自尊感情を育む親子の絆づくり— 10:50~11:20

浜川 明(鳥取県琴浦町教育委員会社会教育課 社会教育主事)

仲島正教氏が提唱している「10秒の愛」の取り組みを、H19年度から全町で展開し始めた。琴浦町PTA連合協議会、町保育園保護者会連合会、琴浦町青少年健全育成協議会、琴浦町教育委員会が協働し、幼保・小・中連携を活かしながら、学校・家庭・地域で共通した取り組みを行うことで、異年代の保護者が共通理解を図り、家庭で子どもの自尊感情を育む実践を促すと共に地域での人権感覚の醸成にもつなげて行こうとしている。

2 「南陵太鼓」から「南陵塾」へ～人が人を育てる～
—次世代に繋げる地域一体型社会教育— 11:25~11:55

斉原 直樹(福岡県鞍手町 南陵塾 塾長)
森 健一郎(福岡県鞍手町 南陵塾 理事)

今から25年前、鞍手南中学校では生徒のエネルギーが負の方向に向かっていた。この状況を打破する為に教師と生徒が一体となり、文化祭で演奏した和太鼓が、地域の人に感動を呼び、未来へ残していこうとする気運が高まり、保存会が発足した。その後、中学校を巣立ったOB達を中心となり、後輩の指導や中学校のバックアップを行う構図ができた。やがて、太鼓を通して地域を活性化させたいという青年層の熱い思いは、演奏活動に留まらず、必然的に青少年健全育成全体を発想する「南陵塾」構想に至った。南陵塾は、青少年健全育成、子育て支援、健康促進、地域発展、スポーツ及び伝統文化活動の振興に寄与する活動を行っている。

3 公民館のコーディネイト機能による小学校との学社融合事業の創造
—公民館講座生が指導する学校クラブの通年プログラム— 12:00~12:30

林田 匡(熊本県熊本市教育委員会事務局生涯学習課秋津公民館 社会教育主事)

連携の拠点を公民館に置き、地域の人的教育資源を通年の単位で学校教育に投入し、合わせて公民館講座生の学習成果を地域還元するプロジェクトを同時遂行する融合企画である。学校と公民館双方の条件調整を行ない、新しい地域教育の在り方を生み出している。学校の柔軟性、公民館の臨機応変の能力が事業を可能にしている。世代間交流の促進はもとより、子どもの社会性、公民館講座生の生き甲斐などさまざまな教育効果を生んでいる。